

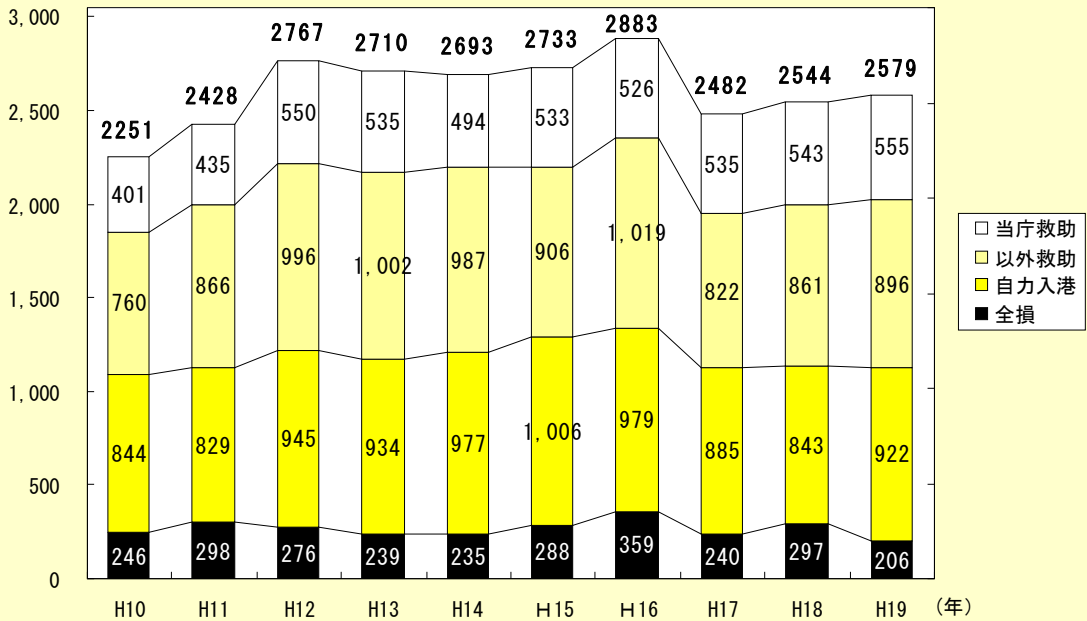
漁船やプレジャーボートが  
捜索救助機関等の現場通信  
(緊急時の連絡手段を含む。)  
を確保するための条件

平成20年 5月13日  
海上保安庁  
警備救難部 救難課

# 船舶海難の救助状況(H10~H19)

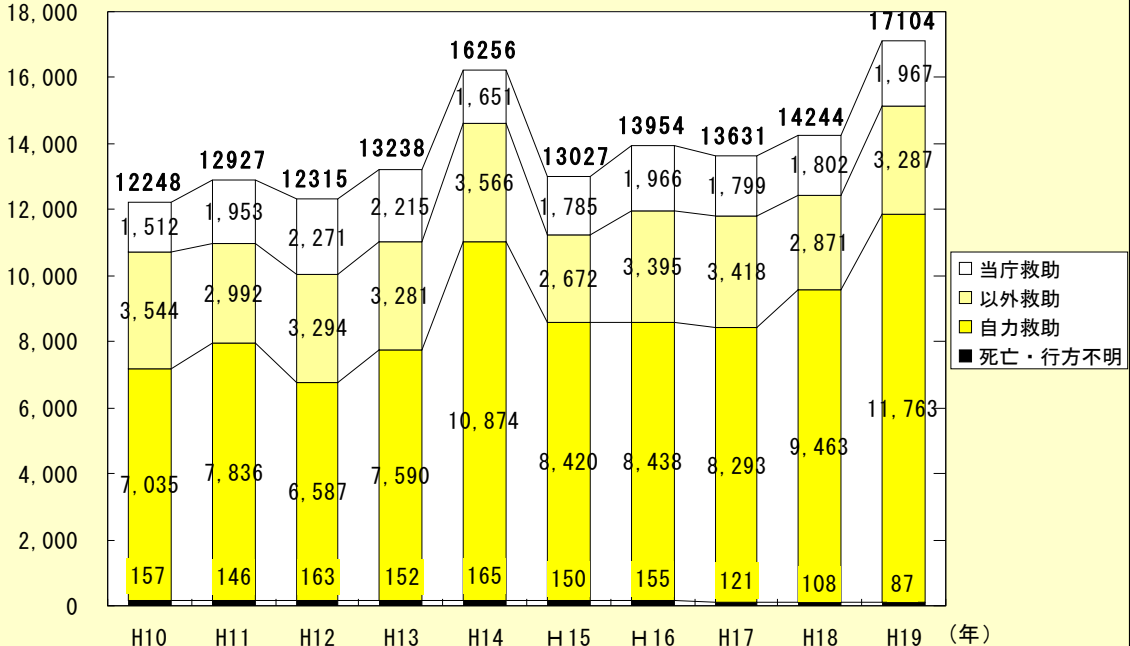
## [5] 海難船舶の救助状況

(隻)



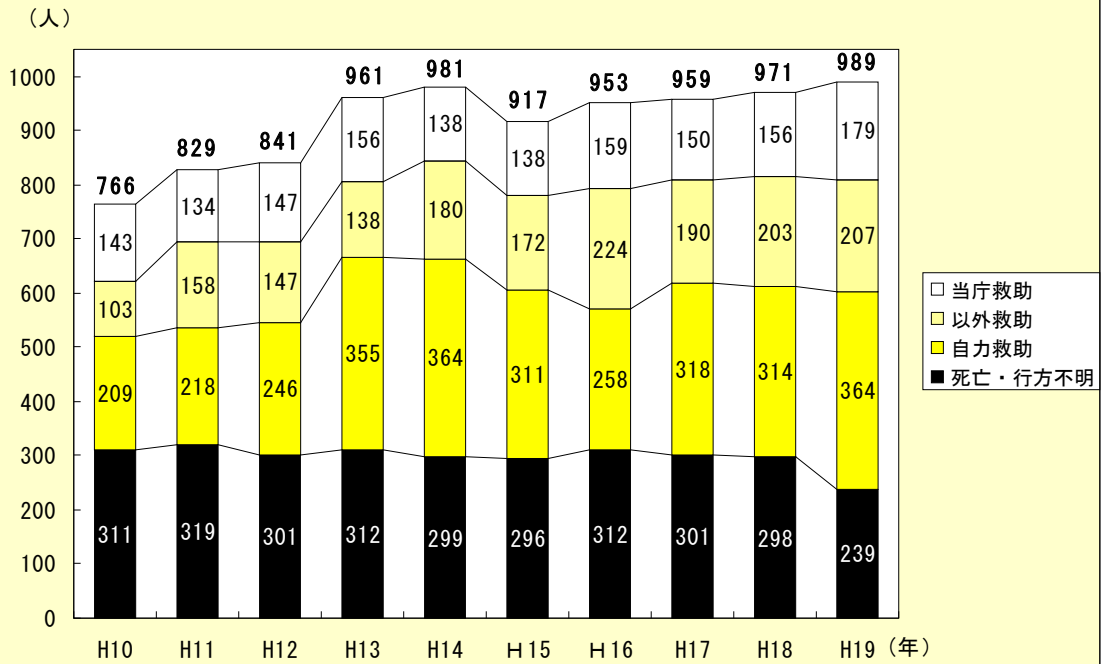
## [6] 海難船舶の乗船者の救助状況

(人)

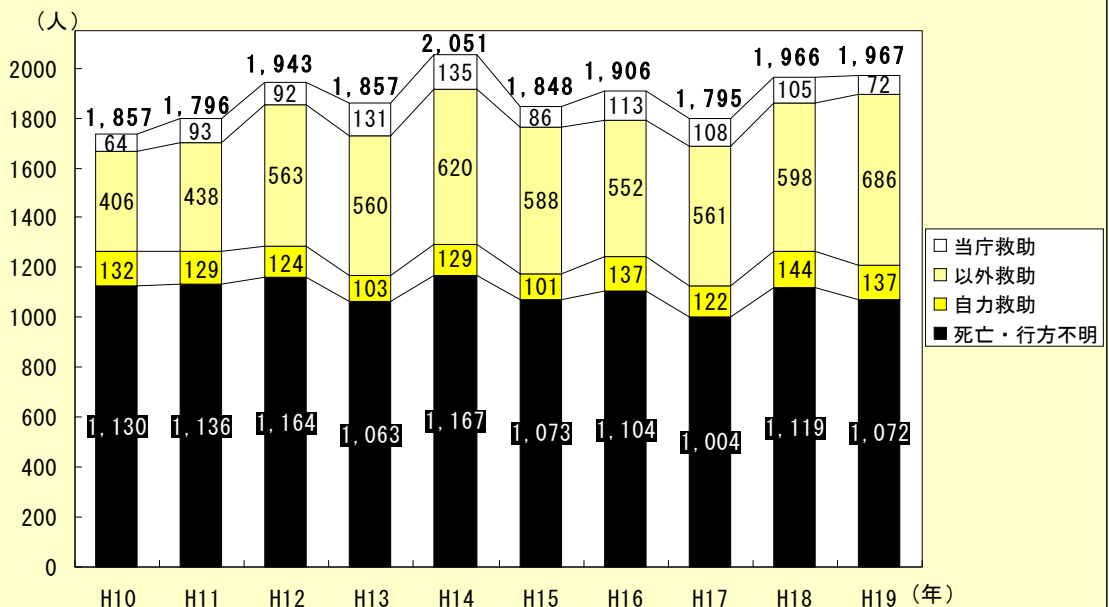


# 人身事故の救助状況(H10~H19)

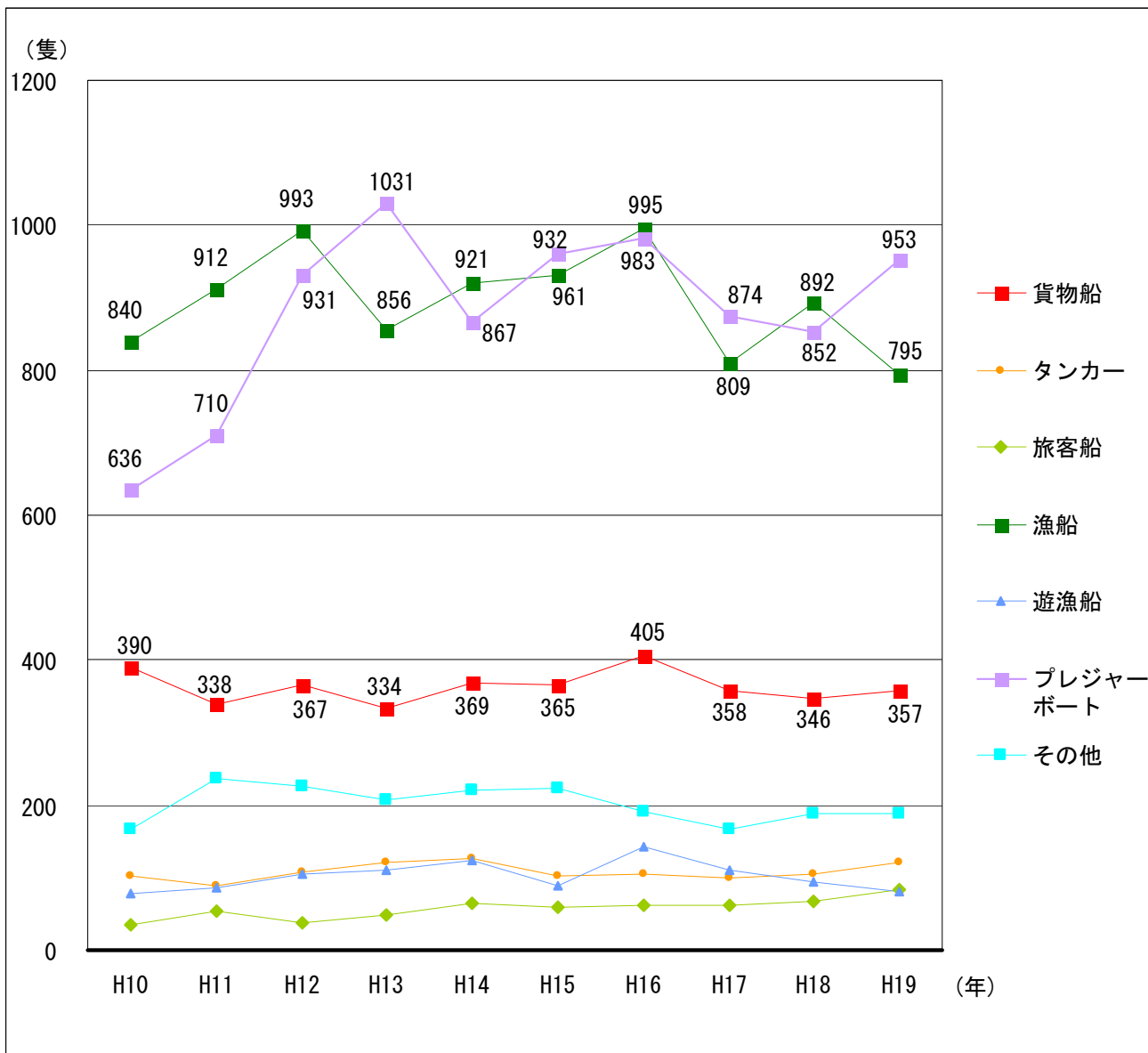
[8] 海難によらない乗船者の事故の救助状況



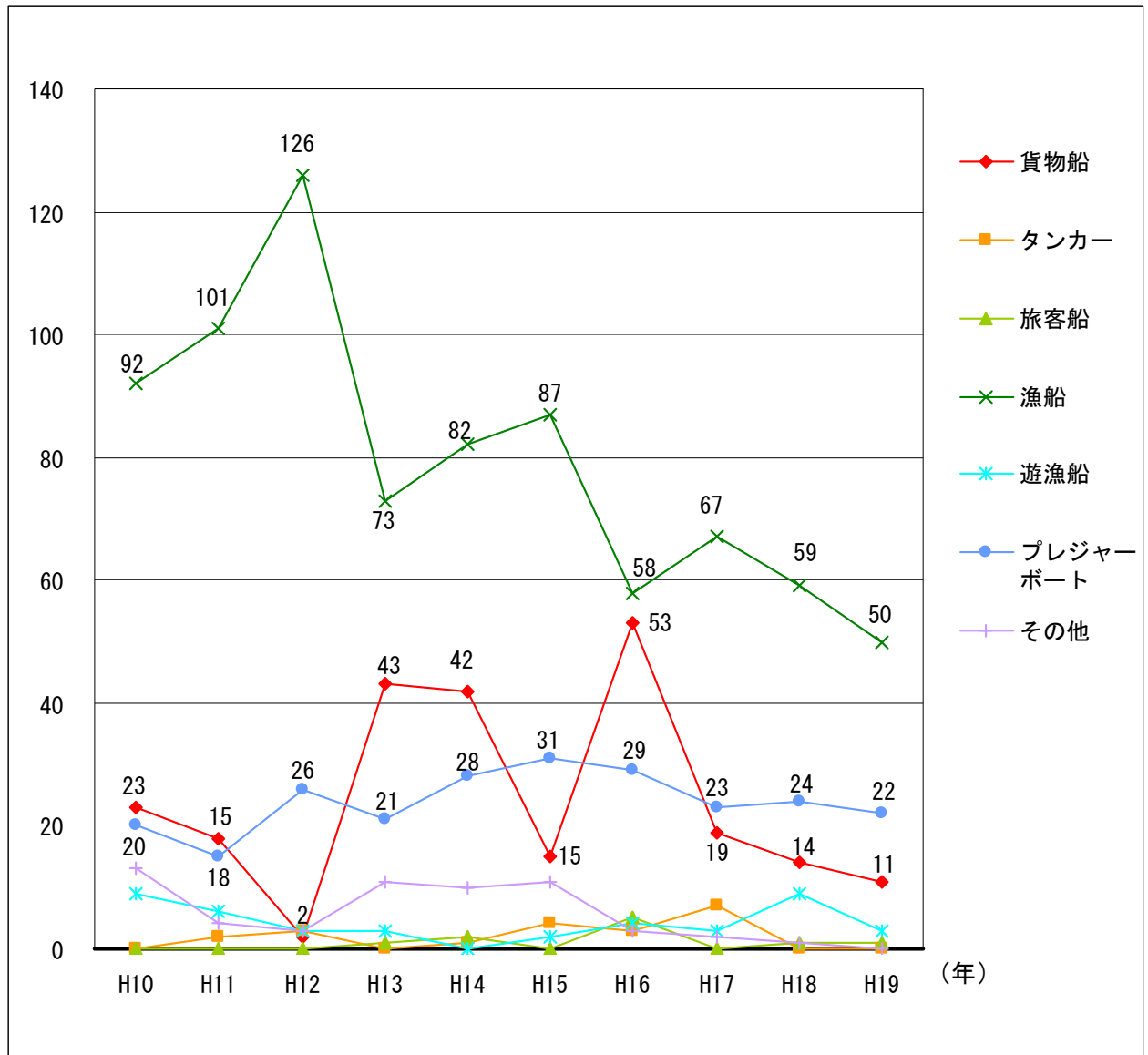
[9] 海浜事故の救助状況



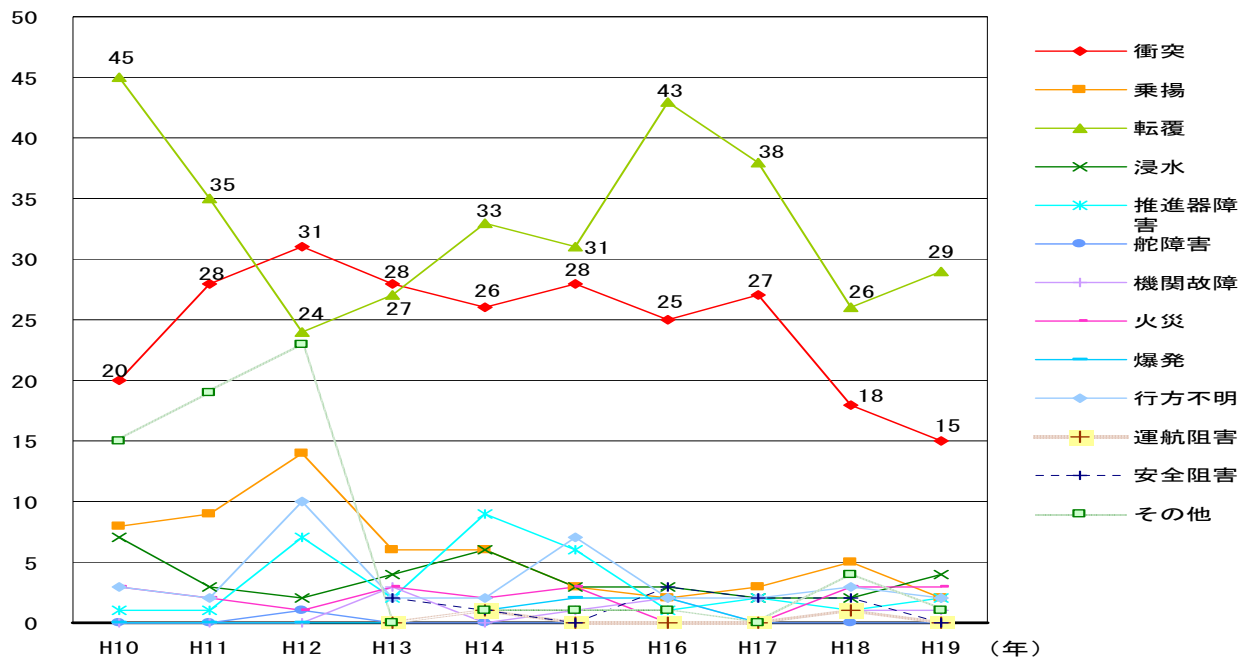
# 用途別による海難船舶隻数の推移



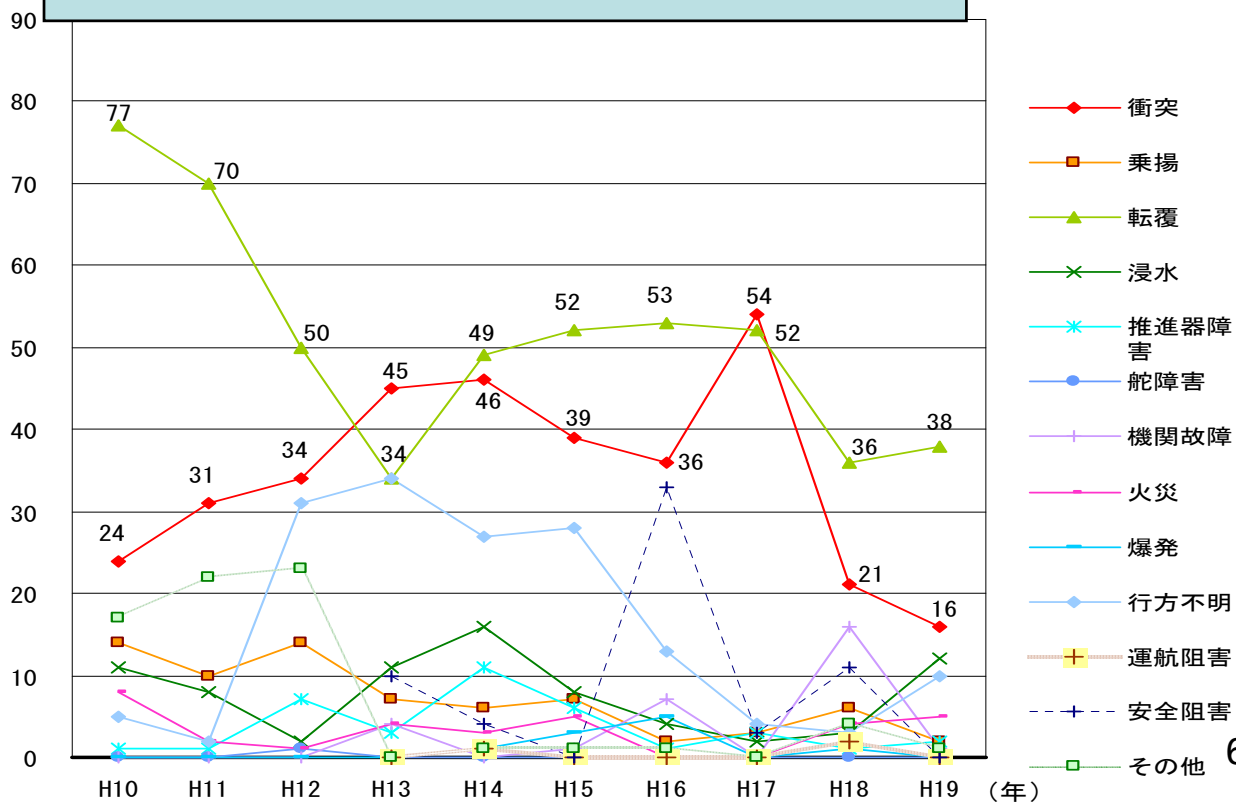
# 死者・行方不明者を伴う海難の用途別による 死者・行方不明者数の推移



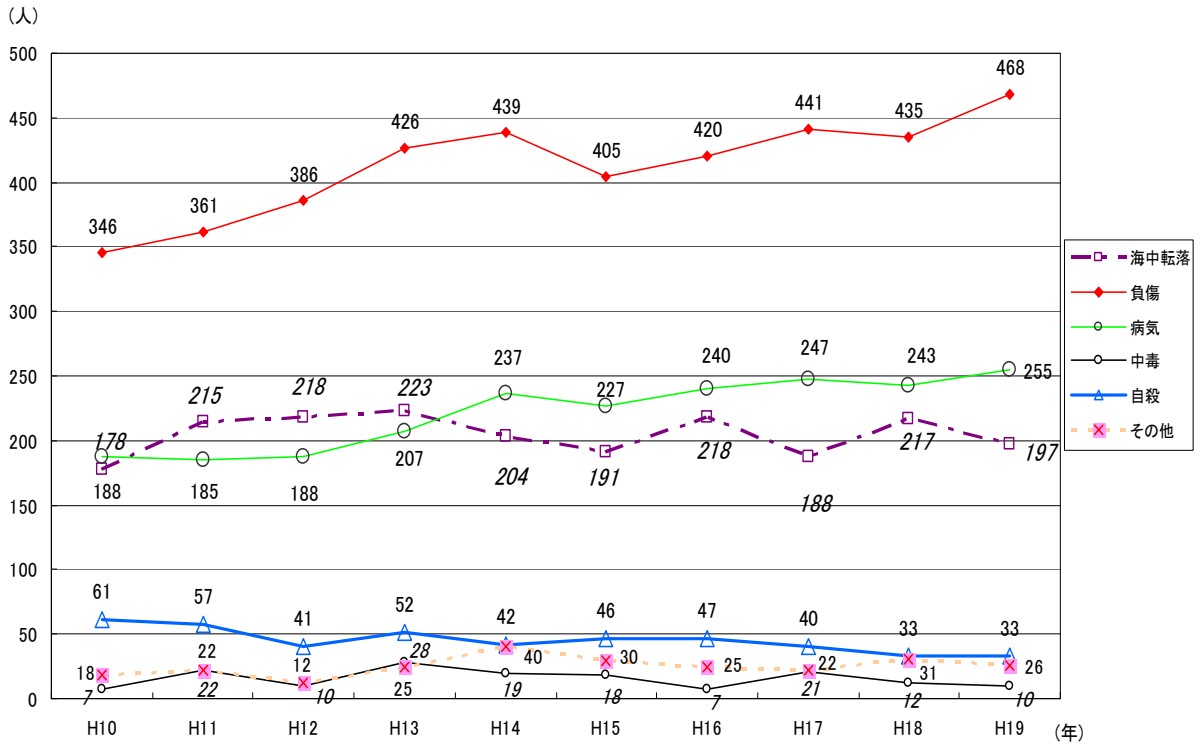
## 死者・行方不明者を伴う海難の種類別による海難船舶隻数の推移



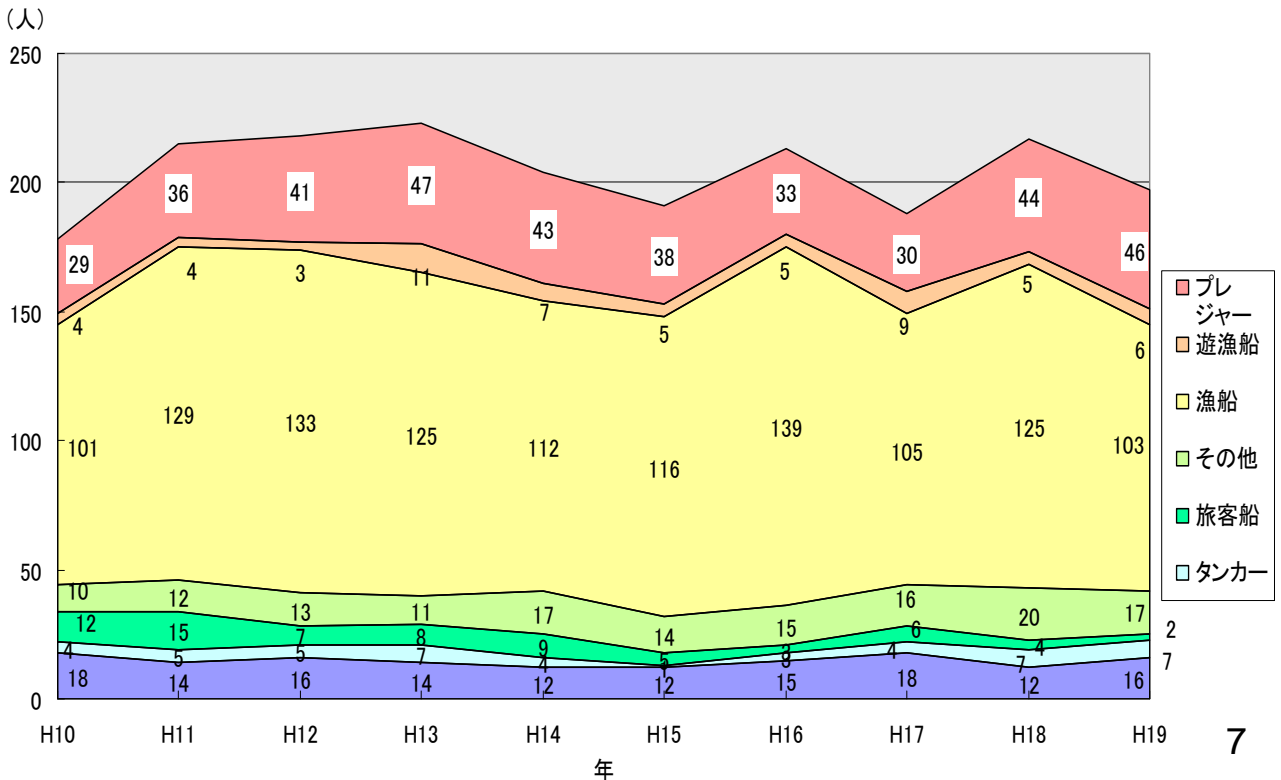
## 死者・行方不明者を伴う海難の種類別による死者・行方不明者数の推移



# 海難によらない乗船者の人身事故種類別発生状況の推移

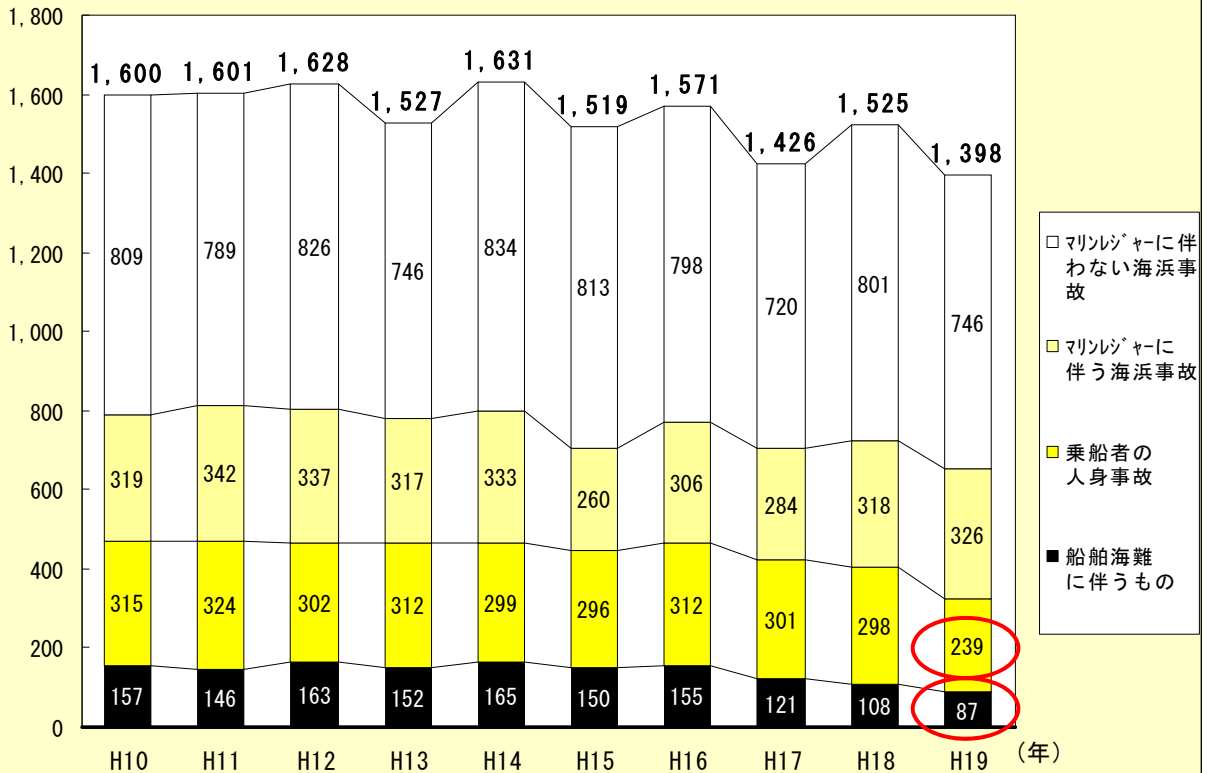


## 海中転落者発生状況の推移



### [3] 海難及び人身事故による死者・行方不明者の推移

(人)



### 海難によらない船舶乗船者の事故による死者・行方不明者数

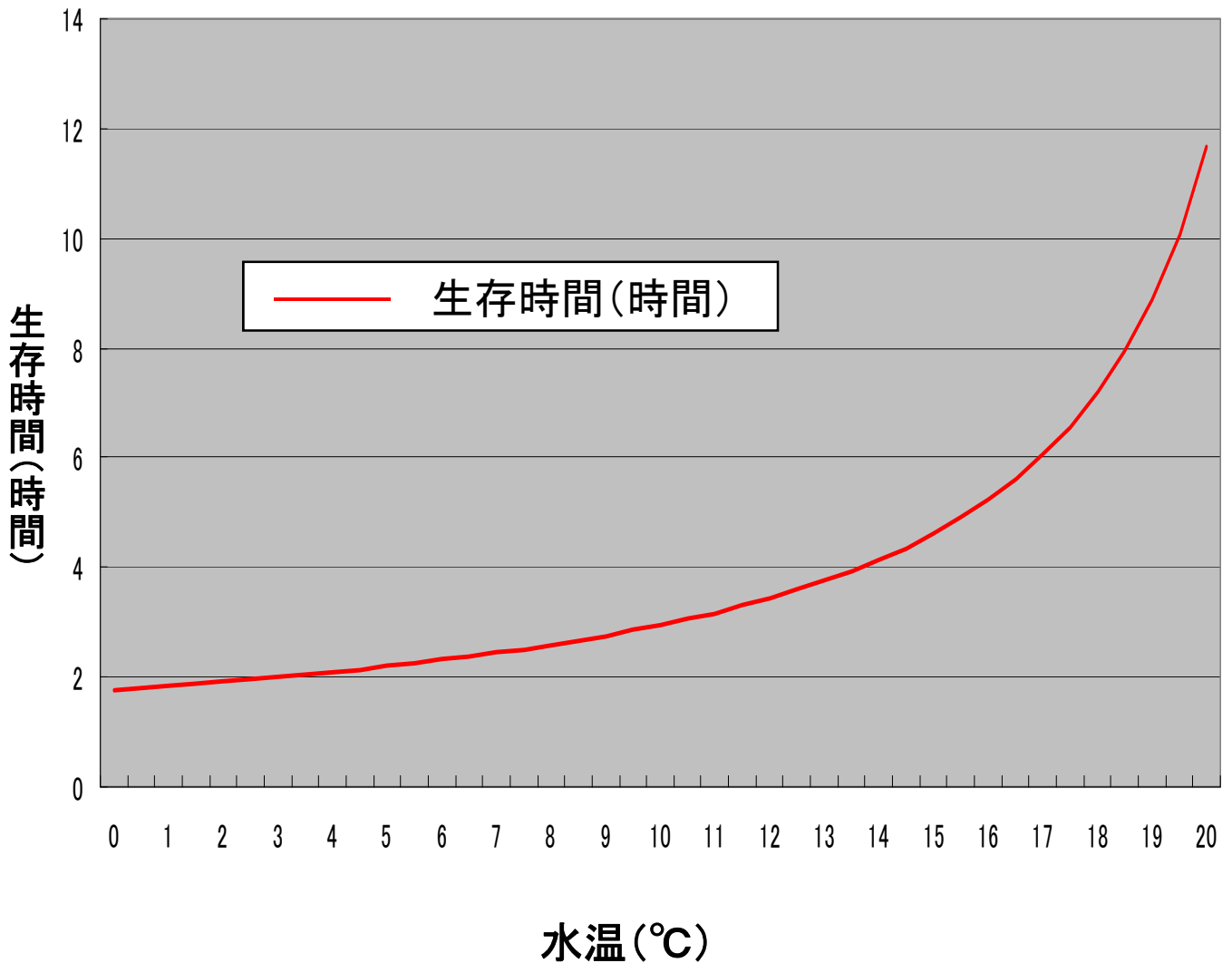
- 239人中、108人が海中転落(64人が漁船、22人がPB)
- 事故者に対して、死者・行方不明者の占める率が5割以上なのは、海中転落(自殺を除く。)

### 船舶の海難に伴う事故による死者・行方不明者数

- 87人中、50人が漁船 38人が転覆
- 59隻中、33隻が漁船



# 水温と生存可能推測時間の関係



人間の許容限界ハンドブック  
編者 関邦博 坂元和義 山崎昌廣  
発行所 (株)朝倉書店

# 距岸別による海難船舶隻数の推移

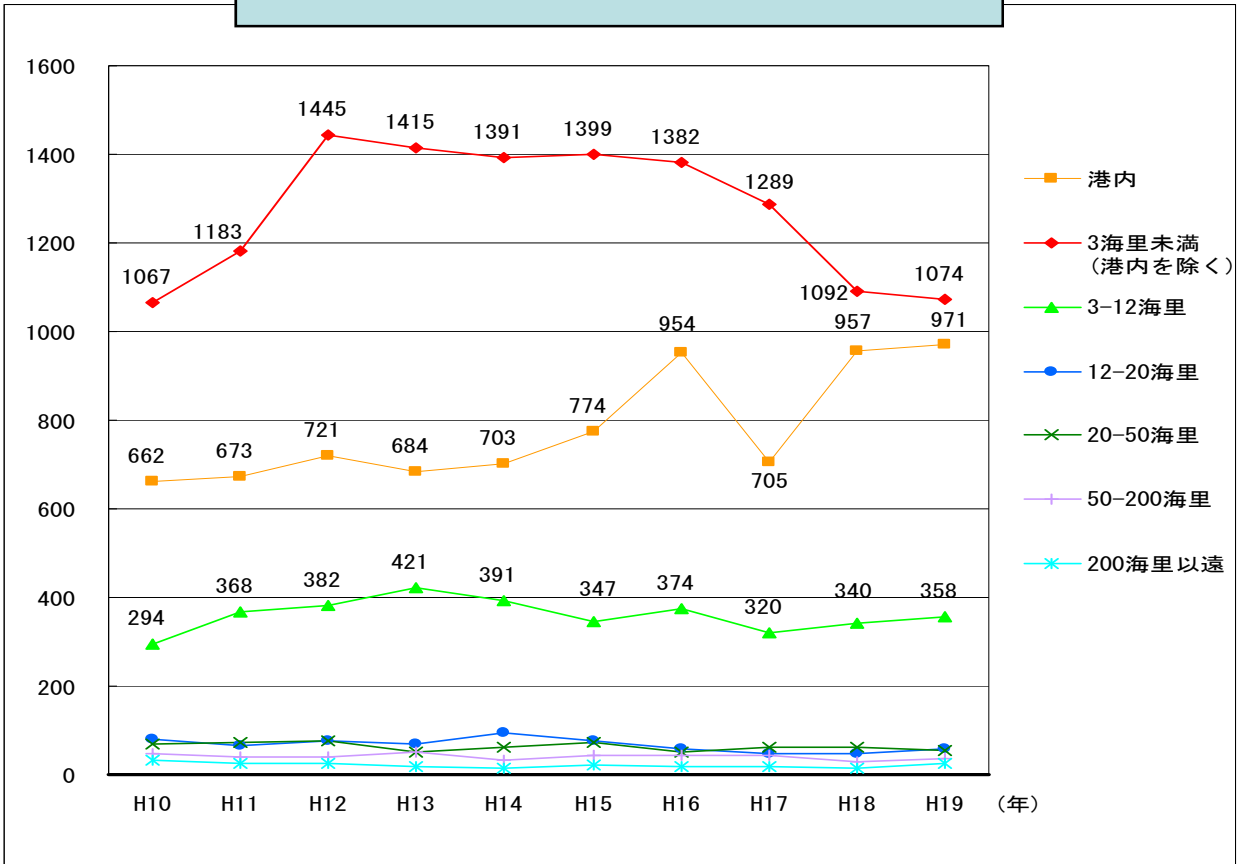
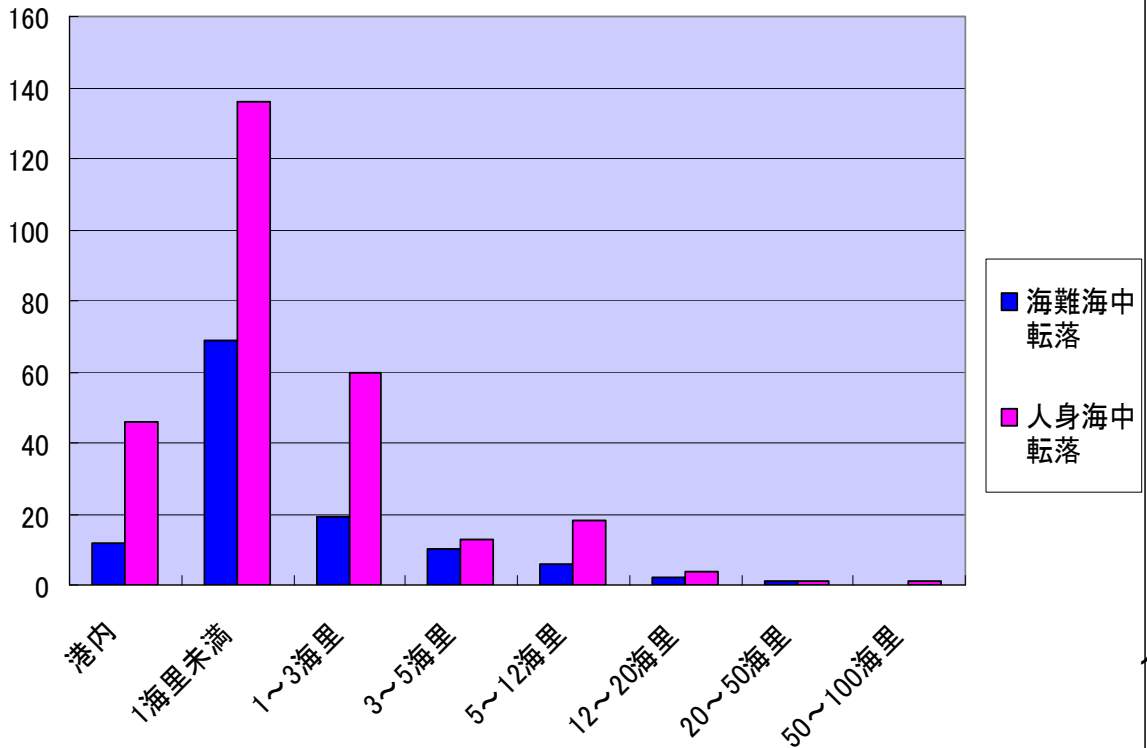


表-7  
(人)

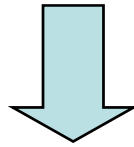
一人乗り漁船の海難及び海中転落事故者発生海域分布(H15年~H19年)



真の遭難者を救うために！

事故発生

ライフジャケットの着用



生存可能時間

迅速な**位置の通報**が必要

防水タイプ

カバーエリア

誤発射防止

# 大切な命！自分で守る

～ライフジャケットはあなたの命を守ります～

自己救命策  
三つの基本

① 海で遊ぶ時はいつも  
**ライフジャケット**を着用してね！

② 携帯電話の  
**防水パック**も  
忘れずに！

③ 海のもしものは  
**118番**だよ！



うみまる



うみまる

うーみん

平成20年4月より、  
**一人乗り漁船**は、連絡手段を  
確保していても、**ライフジャケット**の  
着用が義務化されました。

昭和23年5月1日に海上保安庁法が施行され、  
平成20年5月で海上保安制度創設60周年を迎えます。

愛します！ 守ります！ 日本の海



海上保安制度創設60周年記念